

平成 17 (2005) 年 10 月の世界と日本の地上気温について (速報)

世界の月平均気温は 9 月に続いて第 1 位を更新

2005 年 10 月の世界の月平均地上気温は 1880 年以降で最も高い値となり、9 月に続いて第 1 位を更新しました。また、10 月の日本の月平均地上気温は、1898 年以降で 2 番目に高い値となりました。

気象庁の解析によれば、2005 年 10 月の世界の月平均地上気温の平年差^{*1} (陸上のみ) は +0.82 (11 月 11 日現在の速報値) と、10 月の気温としては 2004 年の +0.63 を超え、統計を開始した 1880 年以来、最も高い値となり (図 1)、9 月に引き続き 2 か月連続で第 1 位を更新しました。また、10 月の日本の月平均地上気温の平年差^{*1} は +1.43 で、1898 年以降で 1998 年に続き 2 番目に高い値となりました (図 2)。

世界では 10 月の月平均気温が平年を上回る地域が多く、特に、日本、バイカル湖周辺からヨーロッパ、カナダ東部、ミクロネシアからメラネシア東部、オーストラリア東部でかなり高くなりました (図 3)。

日本が 10 月に高温だった理由については、太平洋高気圧の勢力が依然として強く、例年に比べて寒気の影響が小さかったことが挙げられます。

10 月の世界の月平均地上気温は長期的には 100 年あたり +0.6 の割合で、日本の月平均地上気温は長期的には 100 年あたり +1.0 の割合で上昇しており、とりわけ 1990 年代後半以降に高温が頻出しています。また、2001 年後半以降、対流圏の気温および海面水温の高い状態が続いています。これらの要因としては、二酸化炭素などの増加に伴う地球温暖化の影響に、自然変動による数年～数十年程度の時間規模で繰り返される変動が重なったものと考えられます。

なお、この 2005 年 10 月の世界の月平均地上気温の平年差は、現在までに入電したデータ (約 1050 地点) をもとにした速報値です。確定値は 2005 年 12 月初めに公表することとしており、順位、値ともに速報値とは変わる可能性があります。

世界及び日本の年平均地上気温、月平均地上気温は気象庁ホームページにて随時更新・掲載しています (<http://www.data.kishou.go.jp/climate/cpdinfo/temp/index.html>)。

*1 平年差とは平均気温から平年値を差し引いた値 (平年偏差ともいう) です。平年値としては、1971～2000 年の 30 年平均値を使用しています。

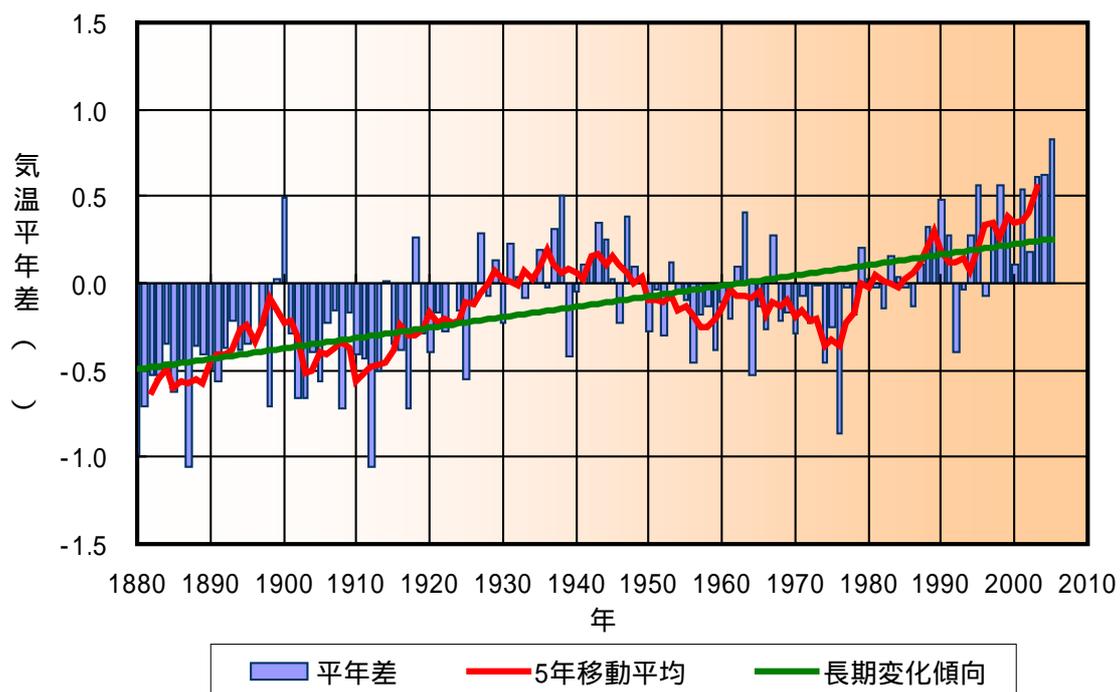


図1 10月の世界の月平均地上気温の平年差(陸上のみ)の経年変化(1880~2005年)
棒グラフは各年の値、赤線は各年の値の5年移動平均を、緑線は長期変化傾向を示す。

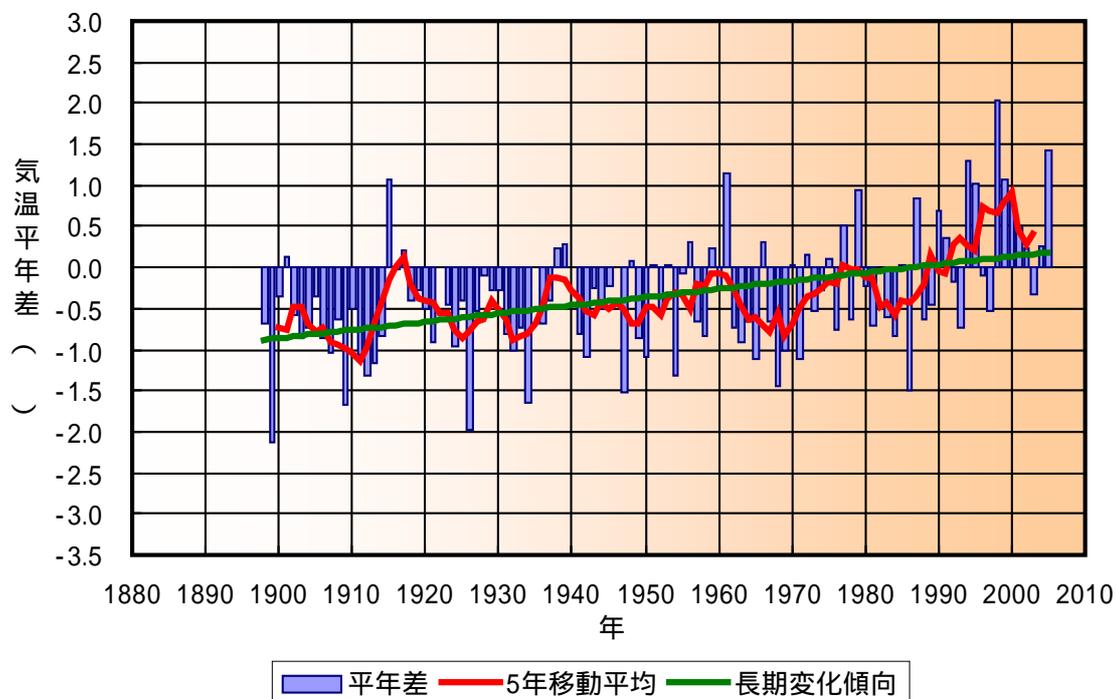


図2 10月の日本の月平均地上気温の平年差の経年変化(1898~2005年)
棒グラフは各年の値、赤線は各年の値の5年移動平均を、緑線は長期変化傾向を示す。

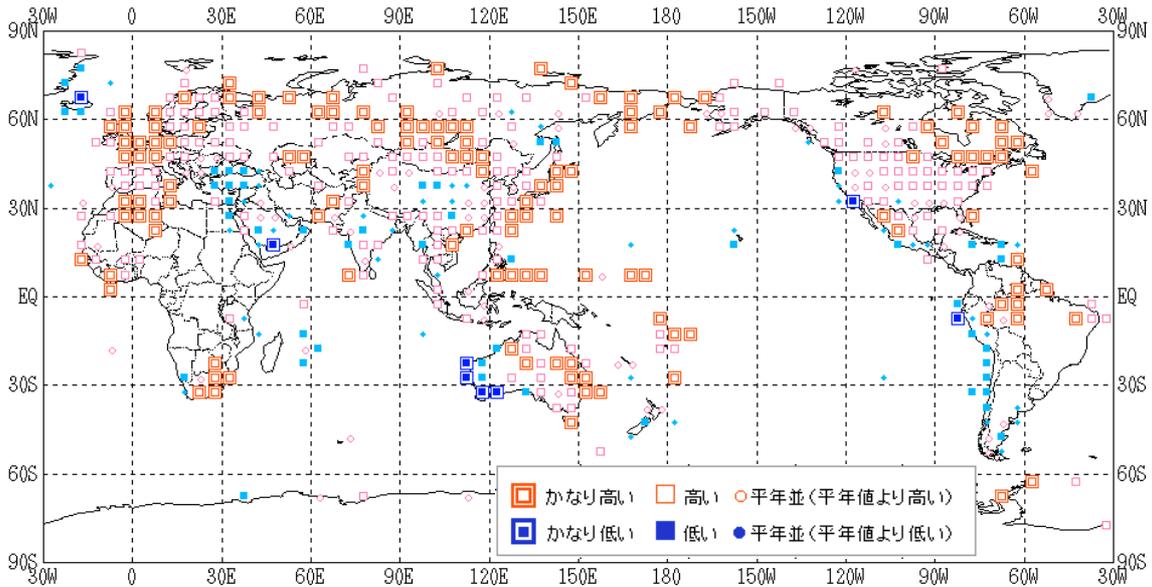


図3 2005年10月の月平均気温平年差規格化階級分布図

各観測地点の月平均気温平年差を標準偏差で規格化し、緯度5度×経度5度ごとにそれらを平均した値を、6つの階級区分(「かなり低い」「低い」「平年並(平年値より低い)」「平年並(平年値より高い)」「高い」「かなり高い」)で示している。

(参考) 10月の月平均地上気温

世界

順位	年	平年差
第1位	2005	+0.82 : 速報値
第2位	2004	+0.63
第3位	2003	+0.61
第4位	1998	+0.56
第5位	1995	+0.56
第6位	2001	+0.54
第7位	1938	+0.50
第8位	1900	+0.49
第9位	1990	+0.49
第10位	1963	+0.41

日本

順位	年	平年差
第1位	1998	+2.03
第2位	2005	+1.43
第3位	1994	+1.30
第4位	1961	+1.15
第5位	1999	+1.07
第6位	1915	+1.06
第7位	1995	+1.02
第8位	1979	+0.94
第9位	2000	+0.84
第10位	1987	+0.83